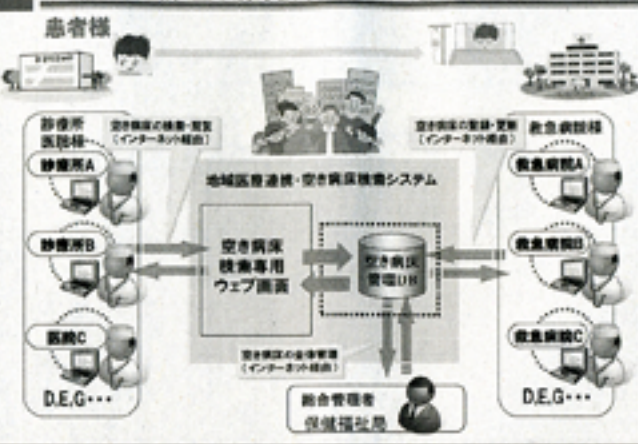


地域医療連携・空き病床検索システム 運用イメージ



空き病床検索システムの運用イメージ

ら編集で

開発した空き病床検索システムは、インターネットで検索と閲覧が可能。個人病院などは、經由で空き病床の検索と閲覧が可能。個人病院などは、I Dとパスワードでログインすると閲覧専用ページで総合病院の空き病床数が確認できる。総合病院は空き病床の入りと編集が行え、市の関係部局は全データを管理する。閲覧ページからは編集で

ウェブサイトの企画構築、運営などを手がけるエスプリ(本社一宮市北今再馬一、野田幸嗣社長、電話0586・63・2350)は、地域の診療所や病院で処置後に転院が必要な患者を受け入れるための総合病院の空き病床数を検索できる「地域医療連携・空き病床検索システム」を開発、販売に乗り出している。病院名などを入力するだけで転院可能な病院の空き病床の状況が分かり、迅速に転院手配できるのが特徴。システムを管理する立場となる自治体に導入を働きかけ、2年後に6件の導入、180万円の売り上げを目指す。

エスプリ

空き病床検索システム開発

地域で迅速に転院手配可能
医療連携

きないなど利用者ごとの権制限によるセキュリティ対策などにより、第三者への情報漏えいを防ぐ。現在は、地域の診療所や病院が患者の転院先を採す際、医師らが個別に総合病院などに電話して空き病床を問い合わせるケースが大

(一宮・松田理恵子)

尾張知多

●尾張支社
一宮市栄
2-14-29
アスティー宮
北館102号
0586(72)5003
FAX
0586(72)6823

●尾東支局
春日井市上条町
1-215
原ビル4階
0568(41)9950
FAX
0568(41)9951

●知多支社
半田市泉町1-4
新美ビル4階
0569(24)6320
FAX
0569(24)6367



野田幸嗣社長

半。診療以外の手間が発生するほか、問い合わせ先の病院の負担も課題となっている。

同システムは、地域医療連携支援システムの一環に位置づけ、クラウドサービ

スで初期投資とランニングコストを安価に抑えた。すでに九州地方の自治体で採用されているほか、このほど、一宮市の「新商品開発・新分野開拓事業者」に認定された。野田社長は「地域医療連携の入り口のサービスであり、ニーズに合わせて空き病床の予約ができるなどシステムを充実させたい」と話している。

中部経済新聞 掲載

2015年(平成27年)8月18日火曜日
空き病床検索システム開発 - エスプリ